

# 東日本大震災が愛知県の鉱工業生産に及ぼした影響

東日本大震災は、建物や設備の損壊等の直接的な被害だけでなく、サプライチェーンの寸断や電力供給の制約、自粛ムード等による消費マインドの低下等を通じ、持ち直しの動きがみられた日本経済に甚大かつ広範な影響を及ぼすこととなった。

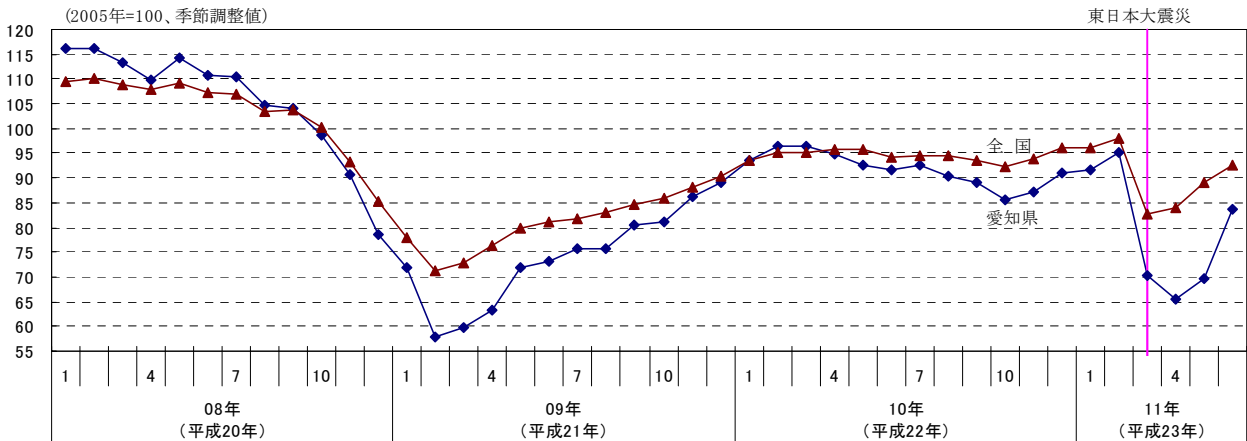
愛知県においても、サプライチェーンの寸断による部品供給の停滞から、主力の自動車産業が操業停止や減産を余儀なくされるなど、企業の生産活動が急速に低下した。

ここでは、今回の震災が本県の生産活動に与えた影響について、鉱工業生産指数の動向からみてみることにする。

震災の発生した3月の生産指数をみると、前月比26.1%減(95.1→70.3)と全国の同15.5%減(97.9→82.7)を大きく上回る低下幅となるとともに、リーマンショックの影響が続く2009(平成21)年2月の同19.5%減(71.9→57.9)を上回る大きな落ち込みを記録した。

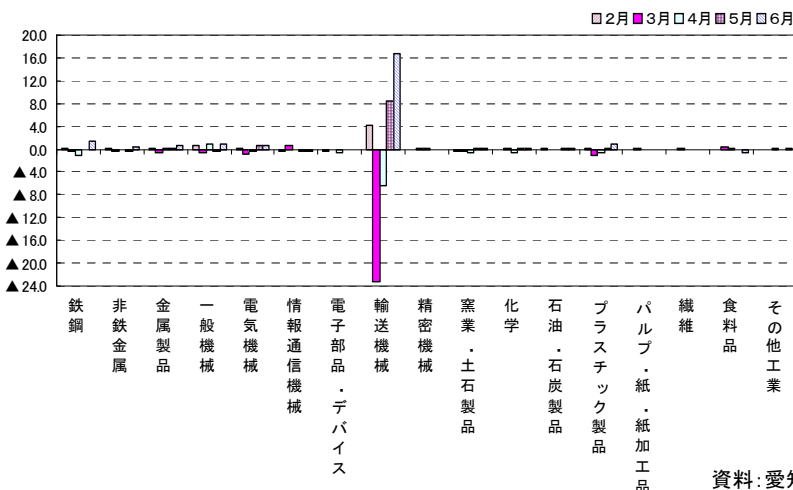
3月の低下には、業種別にみると輸送機械、プラスチック製品、電気機械などが低下に寄与するなか、輸送機械の寄与度が極めて高く、その寄与率は全体の約9割を占めている。一方、財別では、非耐久消費財を除く財が低下に寄与するなか、自動車などを含む耐久消費財において寄与度が高くなっていることから、被災地域から一部部品・原材料の供給が停止し、自動車など最終需要製品の生産活動が行えなかった状況がうかがわれる。その後、生産活動は、サプライチェーンの復旧が想定を上回るスピードで進んだこともあり、6月には震災前の約9割の水準まで回復した。

鉱工業生産指数の推移

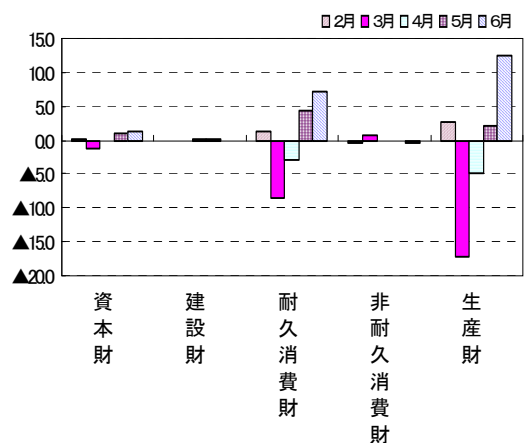


資料: 経済産業省「鉱工業生産・出荷・在庫指数」、愛知県統計課「あいちの鉱工業」

業種別の前月比寄与度(%)



財別の前月比寄与度(%)



資料: 愛知県統計課「あいちの鉱工業」